2016年3月期　第2四半期
決算説明会

2015年11月25日

あすか製薬株式会社

2016年3月期　第2四半期
連結決算概要

あすか製薬株式会社
専務取締役　丸尾　篤嗣

損益計算書（連結）

単位：百万円	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	23,195	21,107	△2,087	△9.0%
売上原価	14,381	12,729	△1,651	△11.5%
売上総利益	8,813	8,377	△435	△4.9%
販売費及び一般管理費	7,743	7,871	127	1.6%
営業利益	1,070	506	△563	△52.6%
経常利益	1,177	688	△488	△41.5%
当期純利益	836	395	△440	△52.6%

2016年3月期第2四半期の状況

■ セルタッチ販売終了およびセオリアファーマとの物流業務終了に伴う売上減少の影響
（合計 約32億8400万円）

事業別売上高（連結）

単位：百万円

	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期	構成比	増減額	増減率
医療用医薬品	**21,244**	**18,924**	89.7%	△2,319	△10.9%
動物用医薬品	**1,835**	**2,019**	9.5%	183	10.0%
その他	**115**	**163**	0.8%	48	41.7%
合計	**23,195**	**21,107**	100.0%	△2,087	9.0%

主要製品売上高

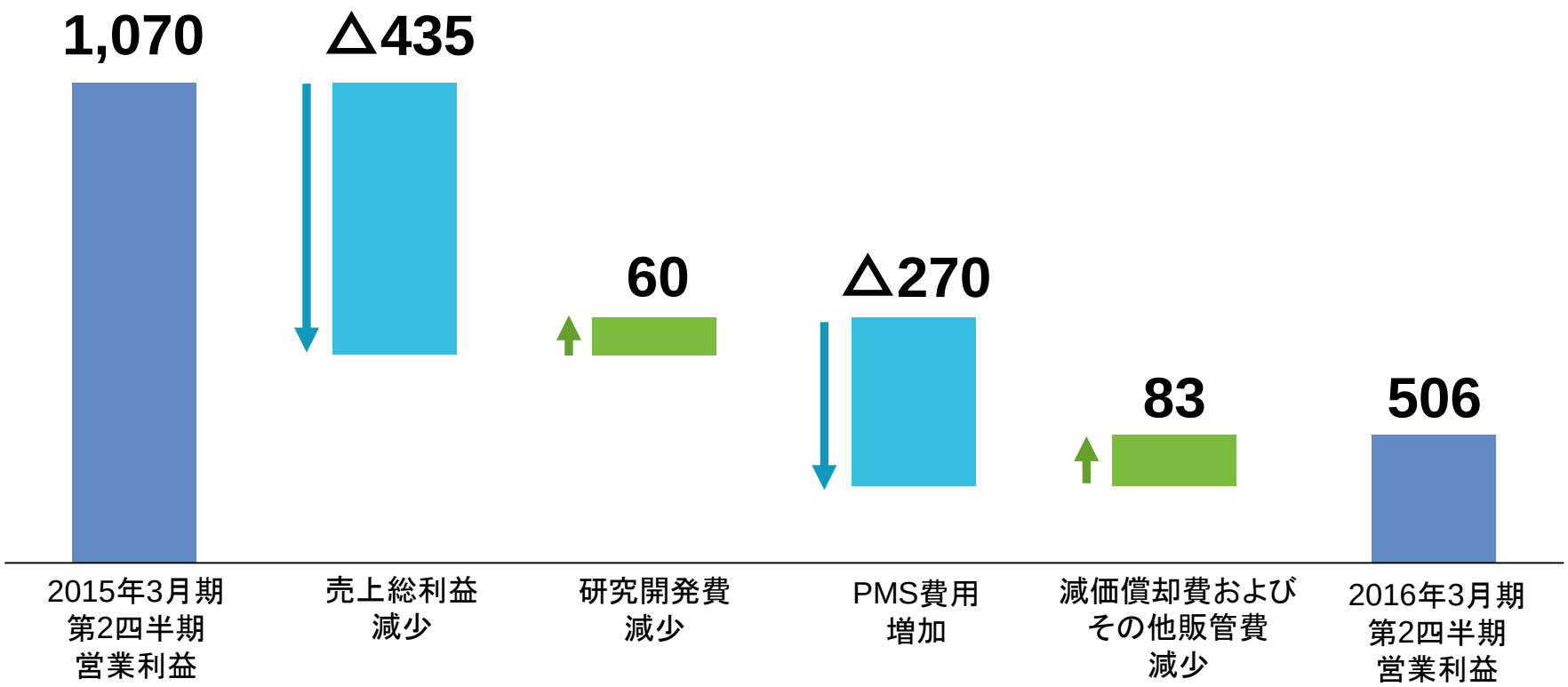
単位：百万円

領域	製品	2015年3月期 第2四半期	2016年3月期 第2四半期		2016年3月期	
		実績	実績	前同比（%）	計画	前同比（%）
内科	※ カンデサルタン	3,384	4,070	120.3%	8,869	151.1%
	チラーヂン	2,392	2,504	104.7%	5,081	104.2%
	リピディル	2,361	2,241	94.9%	4,568	101.9%
	※ アムロジピン	921	911	98.9%	1,845	99.5%
	※ ラベプラゾール	453	501	110.5%	1,048	109.9%
	アルタット	493	392	79.5%	772	83.1%
産婦人科	アンジュ	434	500	115.2%	1,016	108.1%
	ノルレボ	399	496	124.1%	1,024	120.8%
	※ ルテオニン	350	377	107.6%	764	112.5%
	メノエイド	274	301	110.1%	602	107.3%
泌尿器科	※ ビカルタミド	937	964	102.9%	1,917	99.6%
	※ リューブロレリン	777	1,160	149.4%	2,689	150.3%
	プロスタール	669	537	80.3%	1,094	84.4%
	※ リストリーム	361	333	92.5%	690	95.5%

※：ジェネリック医薬品

営業利益増減分析（対前同）

単位：百万円



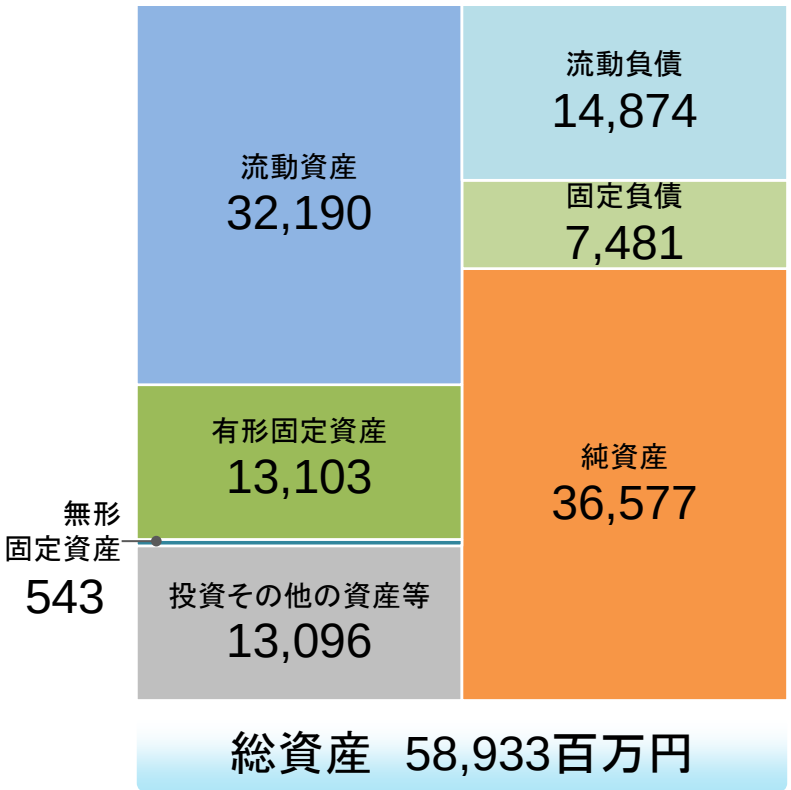
要因分析

- 売上高の減少により、売上総利益が減少
- 研究開発費は減少したものの、PMS費用が増加

貸借対照表（連結）

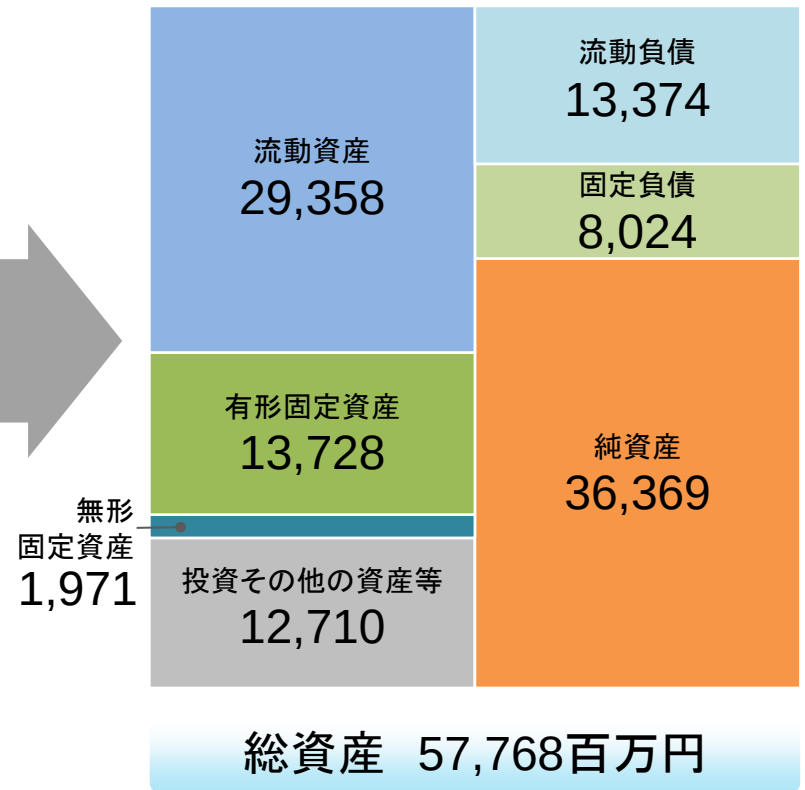
2015年3月期末

単位：百万円



2016年3月期　第2四半期末

単位：百万円



	総資産	流動資産	有形固定資産	無形固定資産	投資その他の資産等	流動負債	固定負債	純資産
増減額	△1,165	△2,831	625	1,427	△386	△1,500	542	△207

2016年3月期予想（連結）

単位：百万円

	2015年3月期 実績	2016年3月期 予想（前回発表）	2016年3月期 予想（今回修正）	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	42,907	47,000	44,000	1,093	2.5%
営業利益	1,425	2,000	800	△625	△43.9%
経常利益	1,722	2,200	1,000	△722	△41.9%
当期純利益	1,193	1,600	600	△593	△49.7%

下振れ要因

- 成長要因と想定したリュープロレリン、カンデサルタンAGの年度計画未達の見込み

2015年度
上期の総括・下期の取り組み

あすか製薬株式会社
代表取締役社長　山口 隆

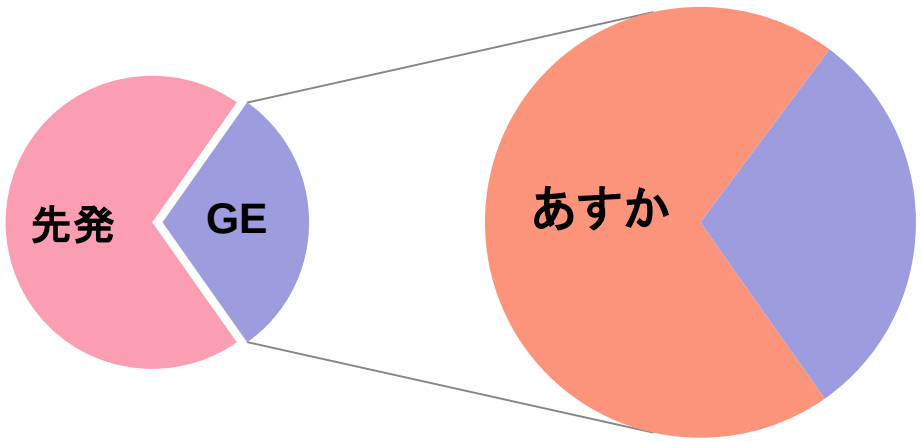
本日の内容

- 成長ドライバーの状況
- 重点領域の取り組み
- 研究開発の状況
- 生産体制の状況
- その他

成長ドライバーの状況

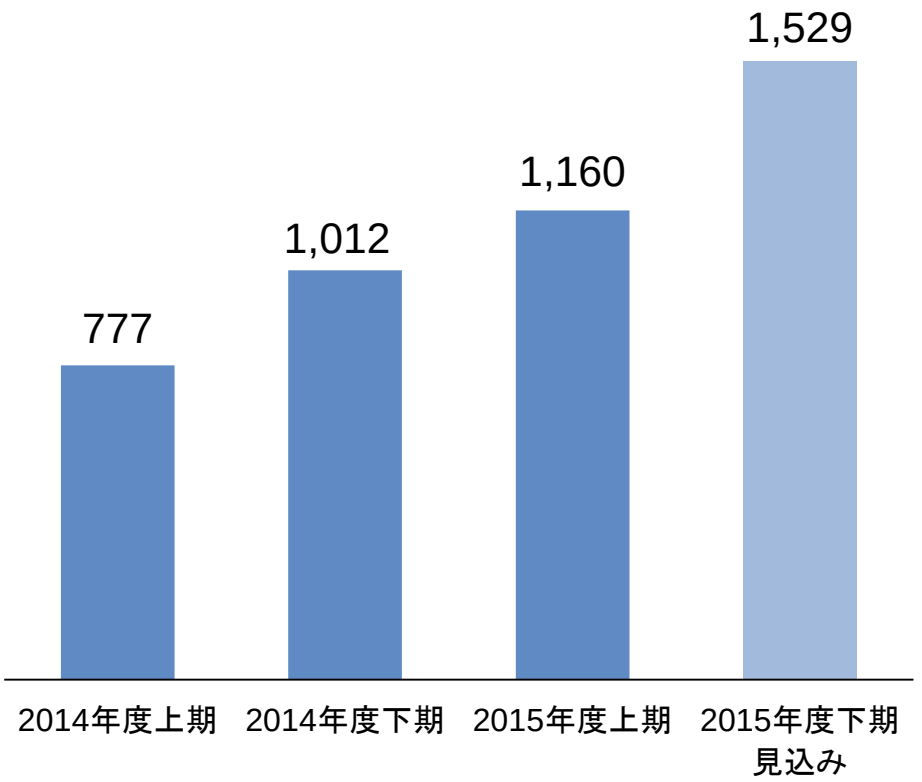
リュープロレリン

数量シェア



売上実績/見込み

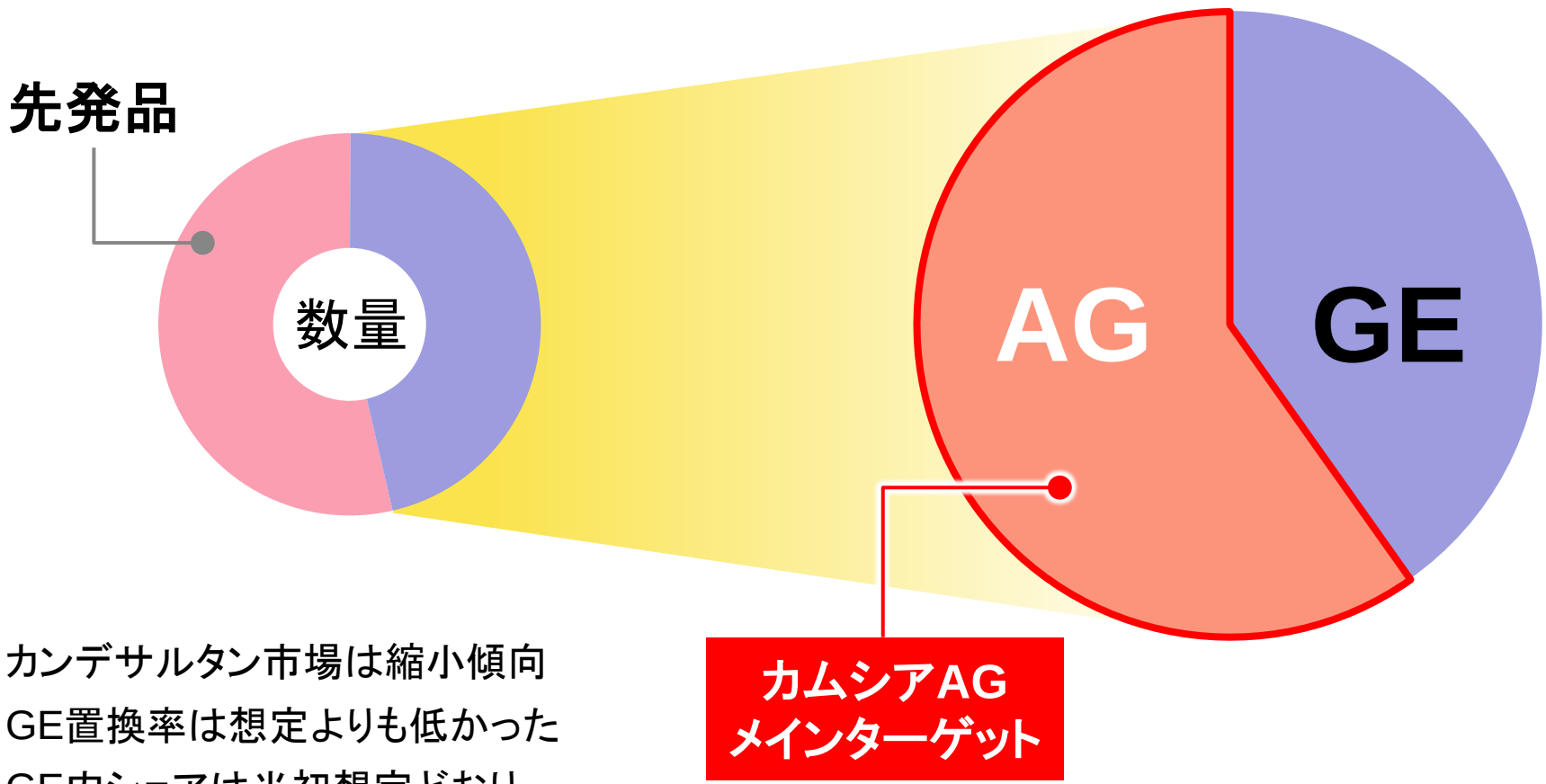
単位：百万円



- 着実に実績伸張
- 基幹病院等の大病院をターゲットに実績拡大を図る

カンデサルタン類

カンデサルタン（単剤）市場

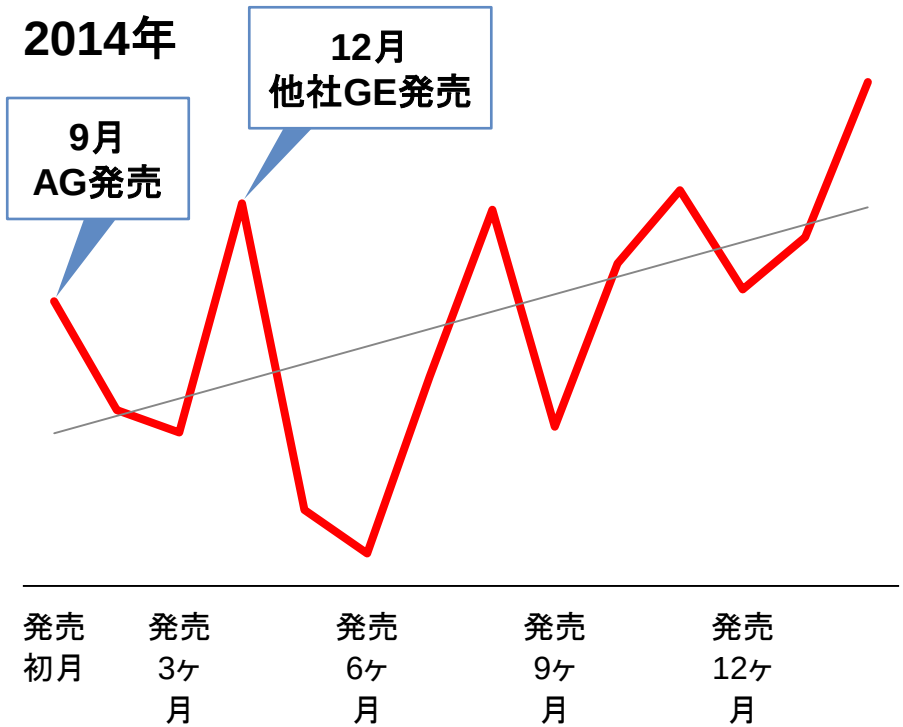


- カンデサルタン市場は縮小傾向
- GE置換率は想定よりも低かった
- GE内シェアは当初想定どおり
- AGの認知率は上昇→ カンデサルタンAG採用先にカムシアAGを重複納入

カンデサルタン売上状況と見込み

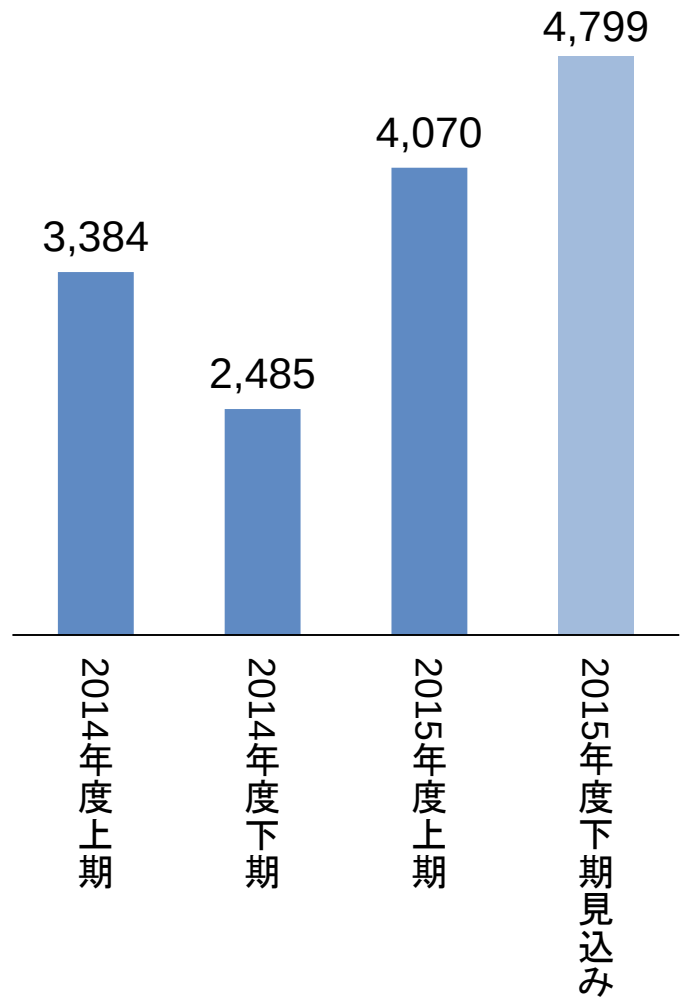
実績推移

実消化ベース



売上実績/見込み

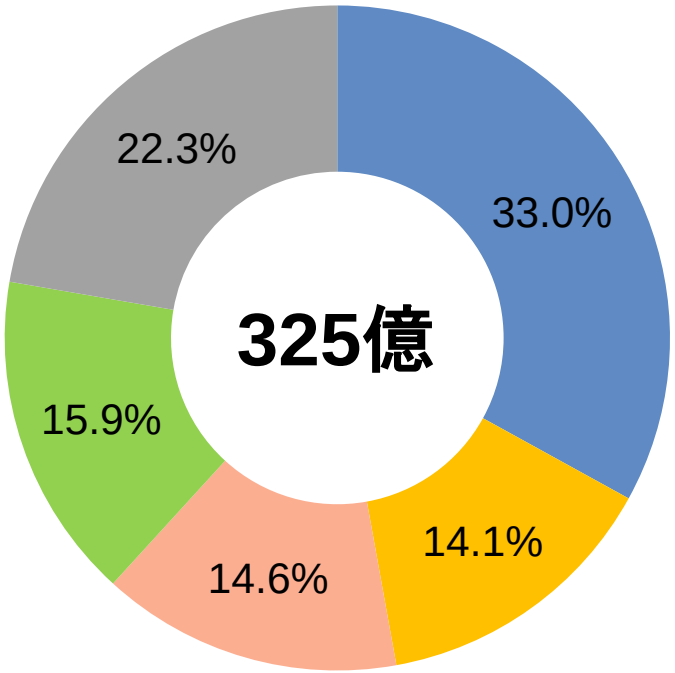
単位：百万円



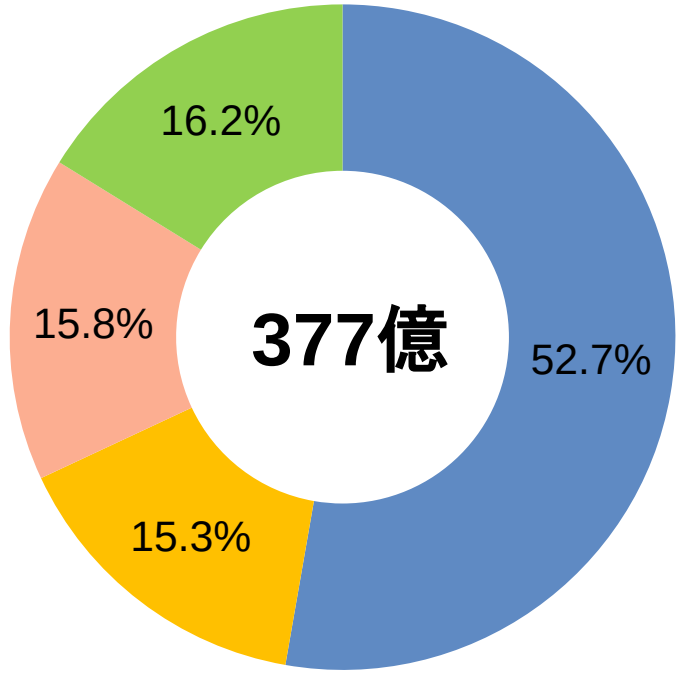
重点領域の取り組み

主要領域の推移

2013年度

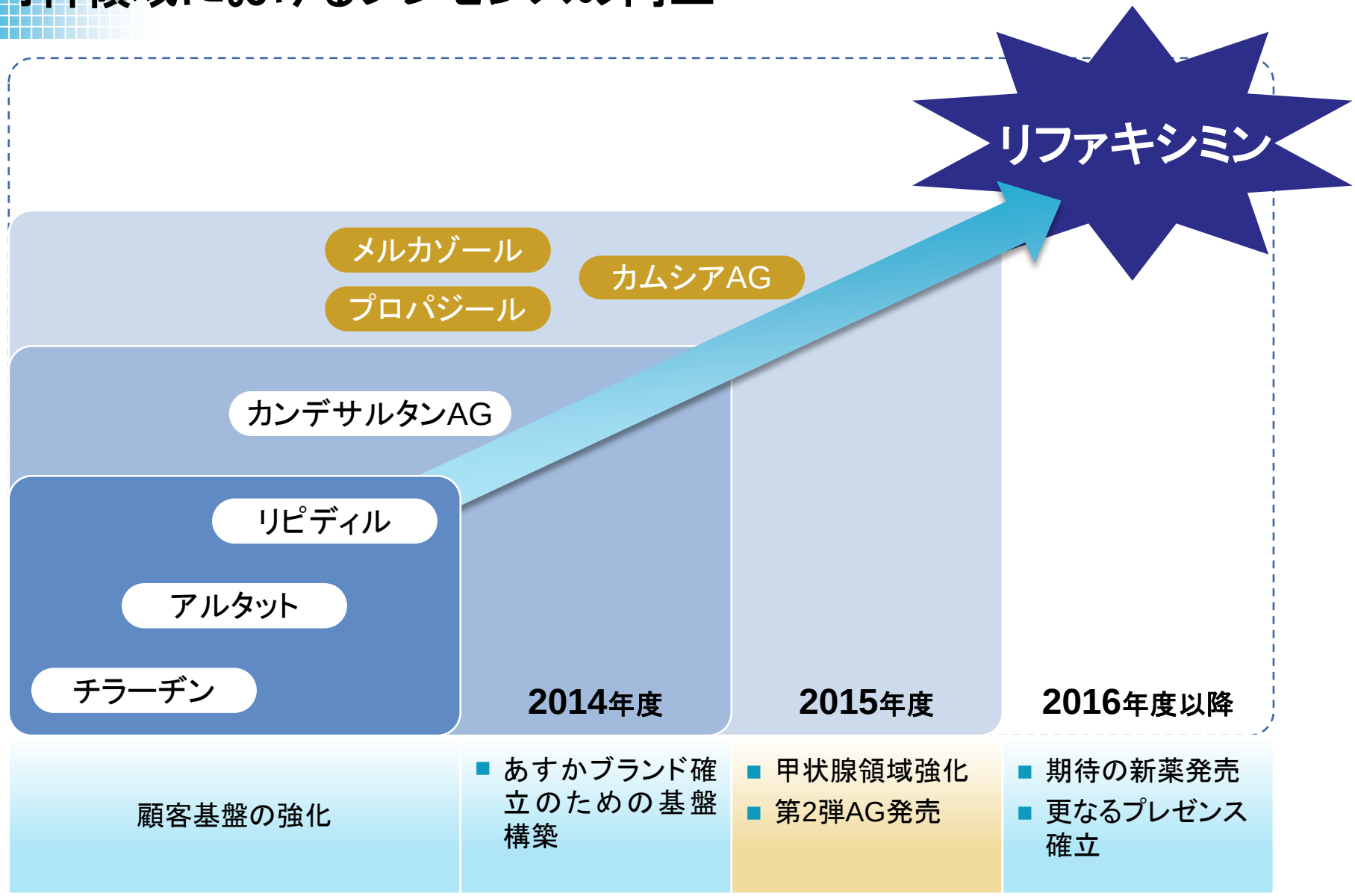


2015年度見込み

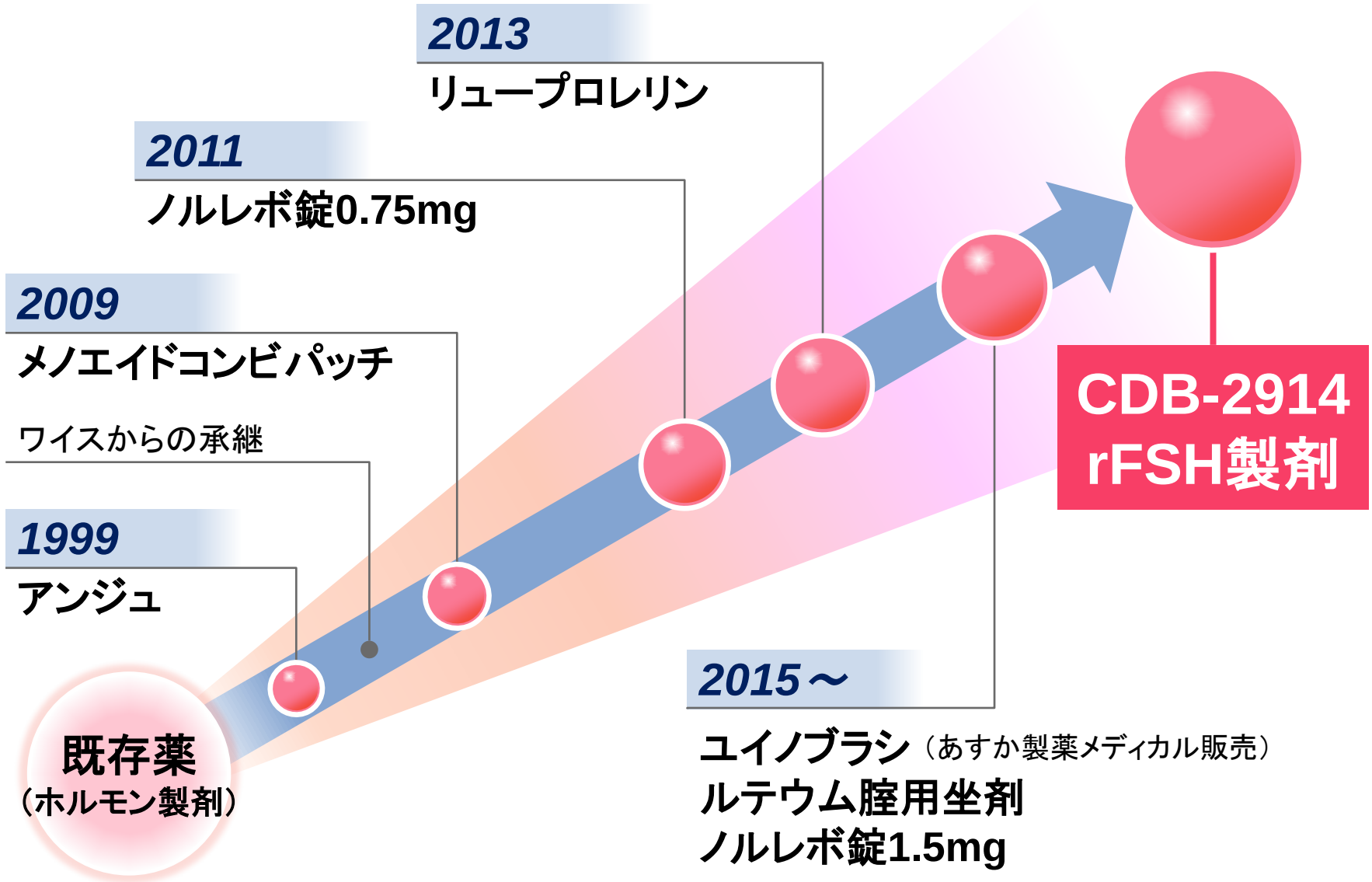


■内科 ■甲状腺 ■産婦人科 ■泌尿器科 ■取扱い中止品

内科領域におけるプレゼンスの向上



産婦人科領域におけるプレゼンスの向上



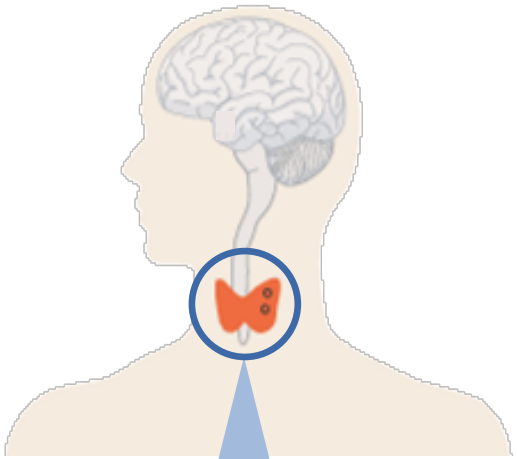
甲状腺領域

10月1日　抗甲状腺剤 「メルカゾール」「プロパジール」 の承継

甲状腺ホルモン剤市場

チラーヂン
服用患者数
90万人

潜在患者数
270万人



甲状腺剤におけるシェア

76% → 96%

抗甲状腺剤市場

抗甲状腺剤
服用患者数
30万人

潜在患者数
90万人

甲状腺疾患の啓発活動により甲状腺剤の市場拡大

日本甲状腺学会「潜在性甲状腺機能低下症の実態調査と治療手引き」

2015年度下期承認・発売予定品目

製品名	領域・効能	承認・発売時期
メルカゾール錠5mg メルカゾール注10mg	甲状腺機能亢進症	10月1日承継
プロパジール錠50mg		
カムシア配合錠LD/HD	高血圧	12月薬価収載予定
ルテウム膣用坐剤	生殖補助医療における 黄体補充（予定）	年度内予定
ノルレボ錠1.5mg	緊急避妊	年度内予定
AKP－007	内分泌・消化器領域	年度内予定

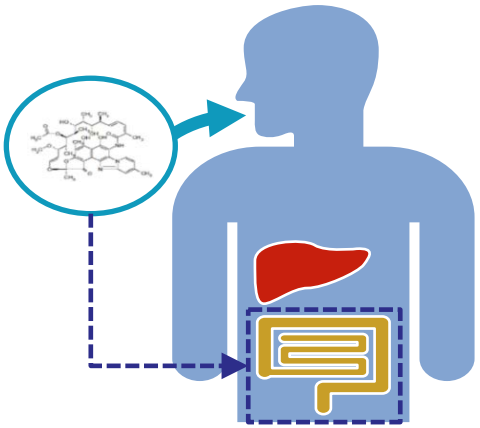
研究開発の状況

研究開発パイプライン

研究開発の状況（2015年11月現在）

開発コード／領域・効能	Ph Ⅰ	Ph Ⅱ	Ph Ⅲ	申請・承認
L-105（リファキシミン） 肝性脳症				2015年12月申請予定
AKP-007（消化管ホルモン分泌抑制剤） 内分泌・消化器領域				申請
AKP-008（ルテウム膣用坐剤） 生殖補助医療における黄体補充				申請
AKP-012（ノルレボ錠1.5mg） 緊急避妊				申請
CDB-2914（ウリプリスタール） 子宮筋腫				
AKP-501（rFSH製剤） 不妊症				

L-105（リファキシミン）



国内の開発状況

- 肝性脳症で開発（2015年12月申請予定）
- 希少疾病用医薬品（オーファンドラッグ）指定
- 適応拡大により価値の最大化を図る

ご参考：海外製薬メーカーの リファキシミン開発状況等

- Alfa Wassermann社（イタリア）が開発した難吸収性抗菌薬
- 欧米を中心に世界約60カ国で承認
- 米国Salix社2014年売上高 404mil.ﾄﾞﾙ（邦貨換算 約485億円）
- NICE*が肝性脳症再発予防に推奨する指針を発表

*NICE：英国国立医療技術評価機構

肝性脳症	米国、欧州承認済
腸内細菌感染症（旅行者下痢症）	米国、欧州承認済
結腸・直腸手術時の感染予防	欧州承認済
憩室炎	欧州承認済
過敏性腸症候群（IBS）	米国承認済
クローン病	米国、欧州 第Ⅲ相臨床試験中
細菌性膣炎	欧州第Ⅱ相臨床試験中

AKP-008（ルテウム膣用坐剤）

適応症：生殖補助医療における黄体補充（予定）



生殖補助医療
体外受精・胚移植 等

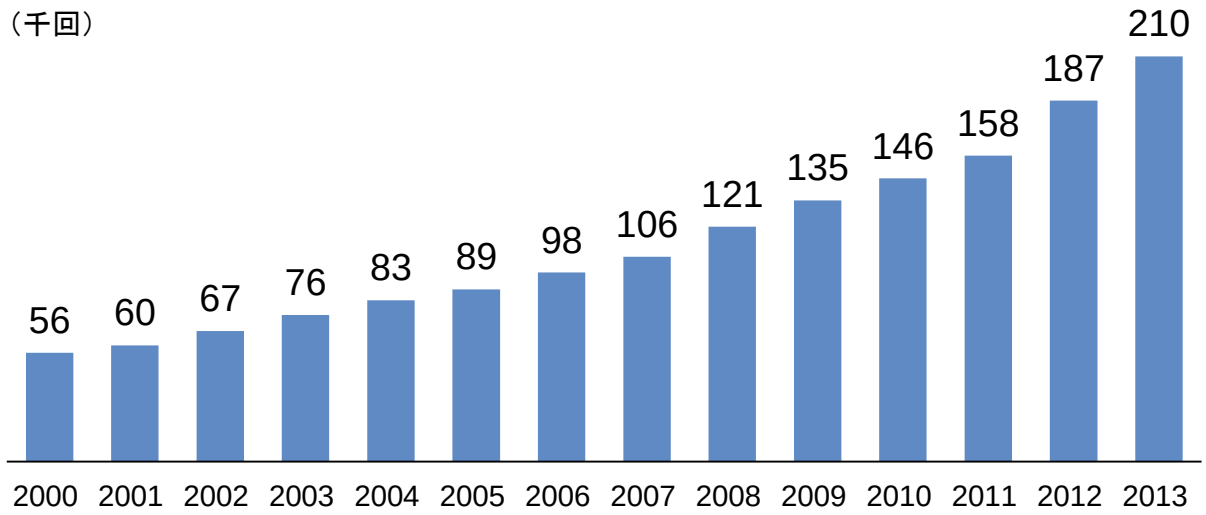
治療薬剤による
黄体機能の低下

妊娠維持に必要な
黄体ホルモンが不足

ルテウム

医療ニーズのある薬剤であり、産婦人科領域ラインナップ拡充につながる

体外受精・胚移植回数（2015年9月 日産婦倫理委員会報告より作図）



- 体外受精・胚移植の移植回数は年々増加傾向にある
- 生殖医学会等の学会から厚生労働大臣宛に早期承認に関する要望書の提出がなされている

AKP-012(ノルレボ錠1.5mg)

日本における緊急避妊

2011年　ノルレボ錠0.75mg

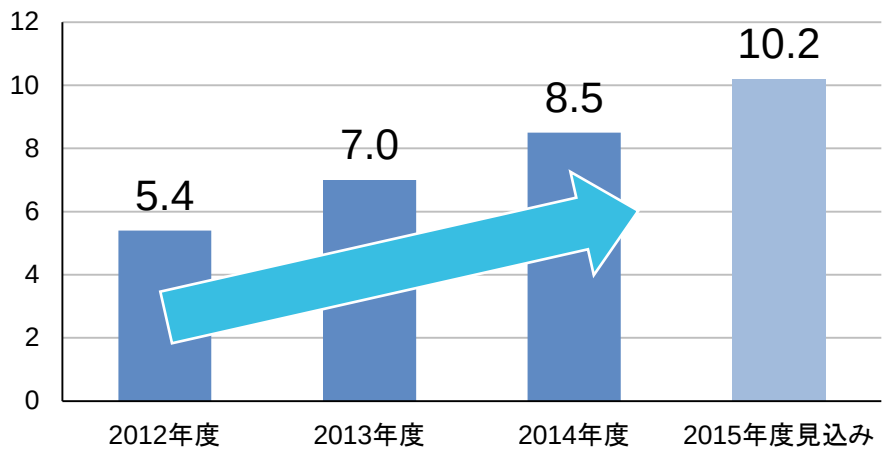
- 性交後72時間以内に**2錠**服用
- 国内初の緊急避妊の適応取得
- WHO推奨

ノルレボ錠1.5mg

- 性交後72時間以内に**1錠**服用
- 海外では1.5mg製剤が50か国で承認
- 結晶多形特許登録（2015.9.18）

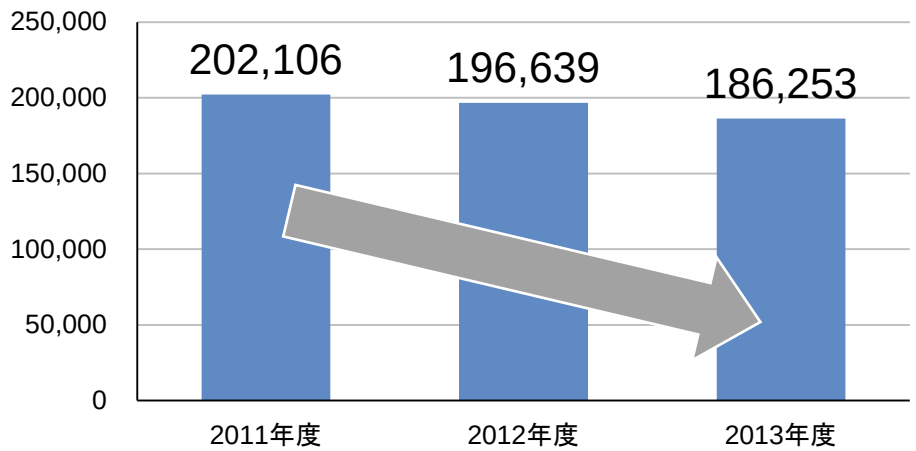
売上の推移

単位：億円



（参考）国内における人工妊娠中絶数

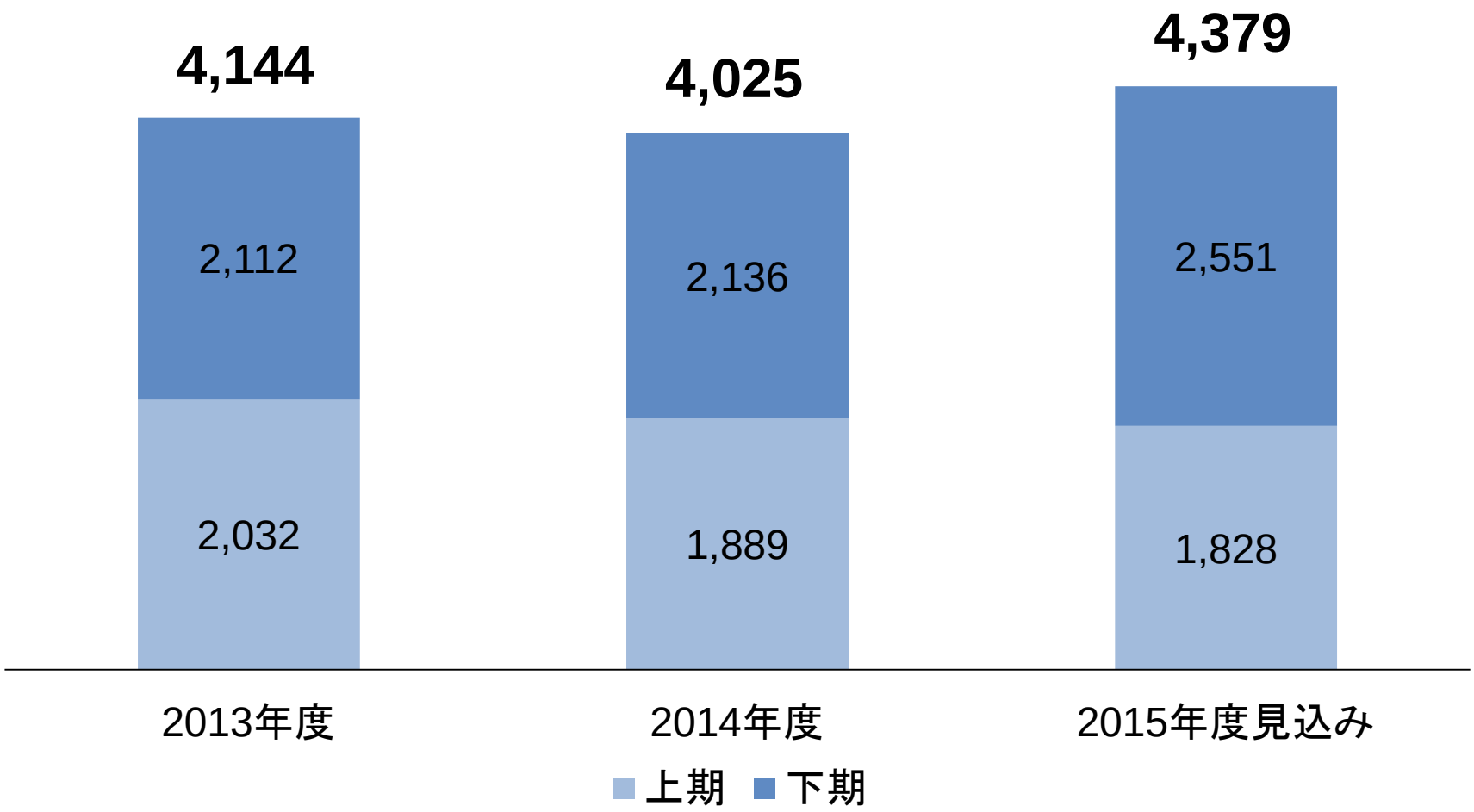
単位：回



出典：平成25年度衛生行政報告例

研究開発費の推移

単位：百万円



生産体制の状況

生産能力増強と原価低減

1. 生産能力増強　ー　第四製剤棟建設

- 2016年2月竣工予定
- 延床面積は約4,600㎡
- 生産能力を現行の1.5倍まで拡大
- 2016年夏頃から稼働予定

工事全体写真



完成イメージ

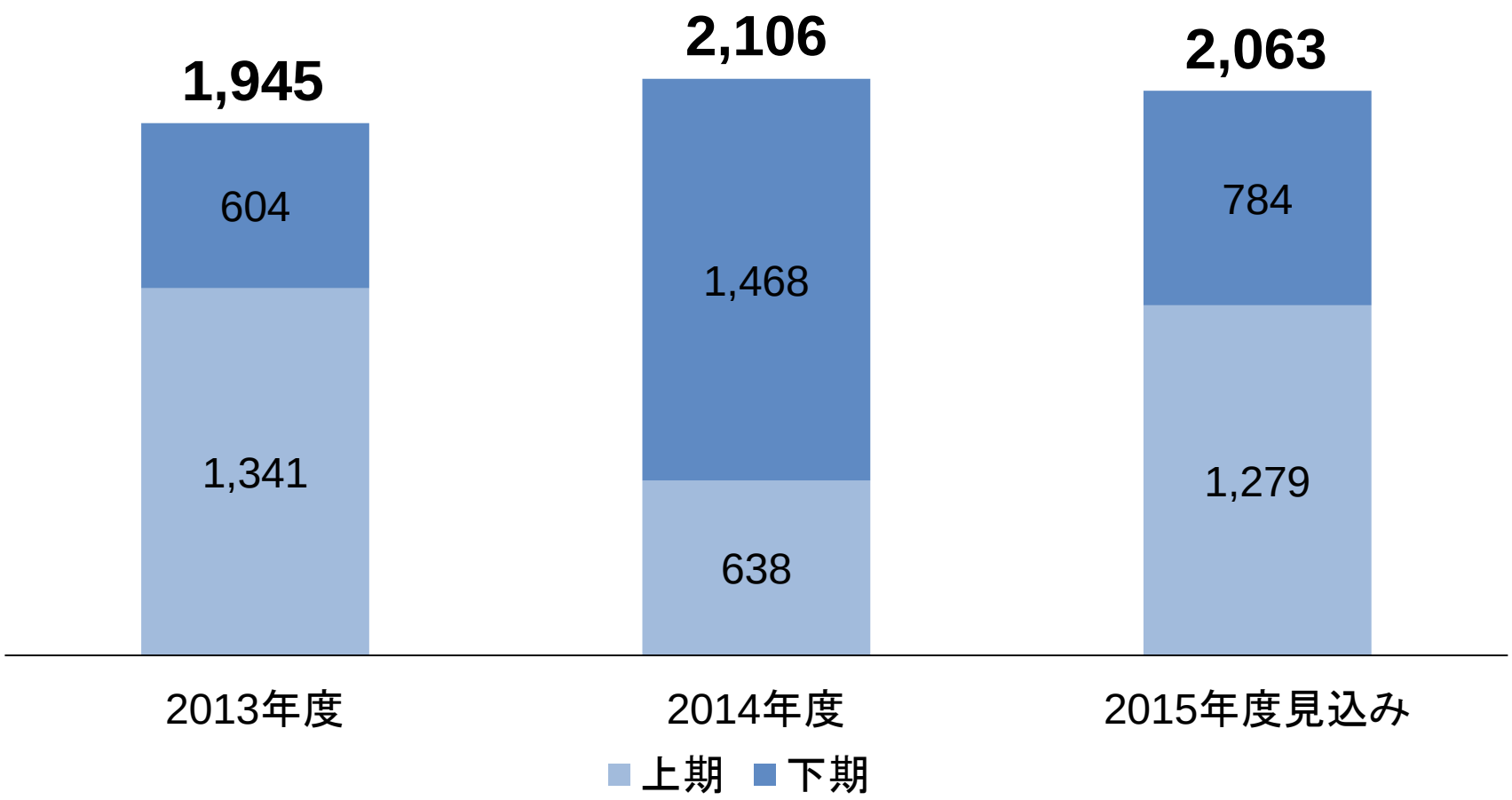


2. 原価低減　ー　内製化推進

- 2015年度末までに2成分を内製予定

設備投資額(有形固定資産)

単位:百万円



その他の事業

あすかアニマルヘルス

- 「栄養と繁殖・免疫」領域の強みを活かし、収益の向上を目的とした事業を構築する
- 動物薬・畜水産事業で堅調に売上伸張



あすかActavis製薬

- GE17成分（製造販売品11成分、提携品6成分）を取り扱う

上期実績　約21.8億円
年度見込み　約42億円



あすか製薬メディカル

- 検査事業とヘルスケア事業の売上伸張を目指した事業展開を進める
- 2015年5月に婦人科用剥離子「ユイノブラシ」発売



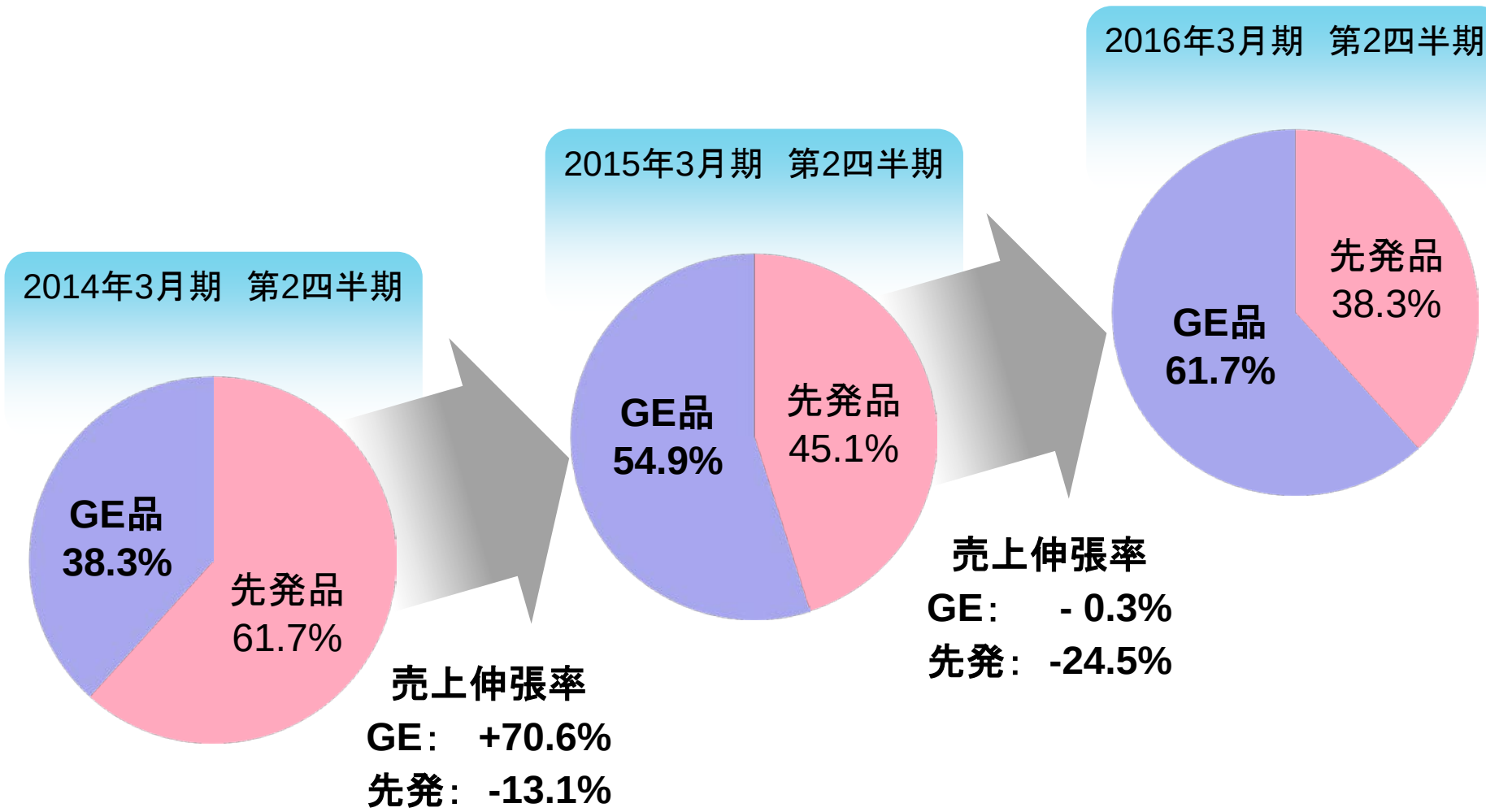
新薬の継続的な上市と市場への定着を図る

先端の創薬を通じて、
人々の健康と明日の医療に貢献する

あすか製薬株式会社

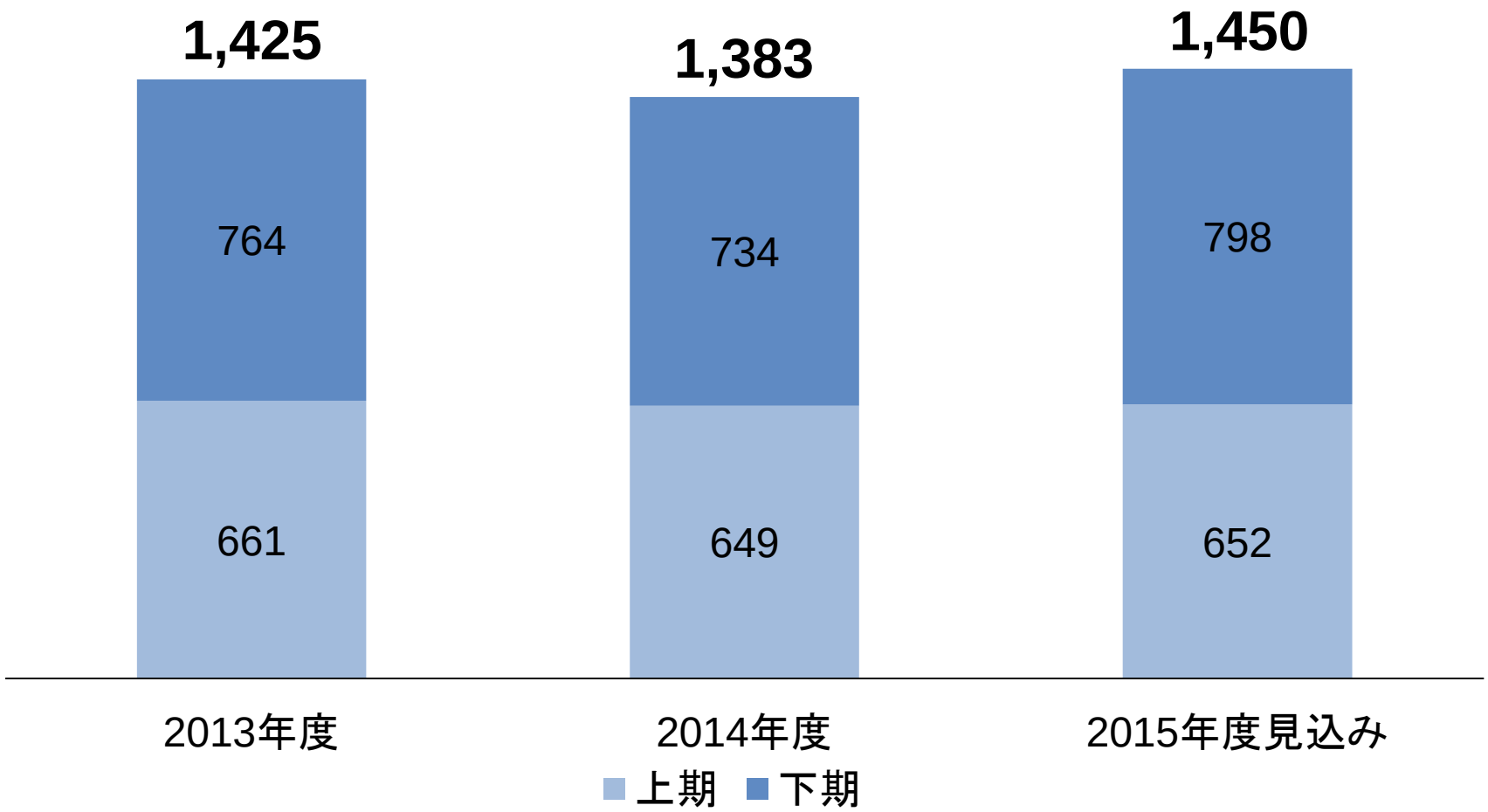
ASKA Pharmaceutical Co., Ltd.

ご参考：医療用医薬品の売上構成比・伸張率



ご参考：減価償却費（有形固定資産）

単位：百万円



- この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております
- したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います
- 医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません

お問い合わせ先

経営企画部

Tel　：03－5484－8366

e-mail：kouhou@aska-pharma.co.jp

